

### 3-2 バックホウの作業能力

#### (1) 日当り施工量

バックホウによる各作業の日当り施工量は、次表を標準とする。

表3.4 日当り施工量

(1日当り)

作業の種類	名称	規格	土質名	単位	数量	
					障害なし	障害あり
地山の掘削積込	バックホウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	m <sup>3</sup>	270	171
			岩塊・玉石	〃	207	126
		排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積1.4m <sup>3</sup> (平積1.0m <sup>3</sup> )	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	450	288
			岩塊・玉石	〃	369	234
ルーズな状態の積込み	バックホウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	279	
			岩塊・玉石, 岩(破碎)	〃	234	
		排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積1.4m <sup>3</sup> (平積1.0m <sup>3</sup> )	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	468	
			岩塊・玉石, 岩(破碎)	〃	396	
		排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	144	
			岩塊・玉石, 岩(破碎)	〃	117	
床掘り (作業土工)	バックホウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	220	180
			岩塊・玉石	〃	160	130
		排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	150	100
			岩塊・玉石	〃	110	70

(注) 現場条件の内容

#### 1. 地山の掘削積込

障害なし：構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されなく、連続掘削作業が出来る場合。

障害あり：掘削作業において障害物等により施工条件に制限があり(例えば作業障害が多い場合)、連続掘削作業が出来ない場合。

#### 2. 床掘り(作業土工)

障害なし：①構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されないオープン掘削の場合。

②構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されない矢板のみの土留・仮締切工掘削の場合。

障害あり：①床掘作業において障害物等により施工条件に制限がある場合(例えば作業障害が多い場合)。

②土留・仮締切工の中に、切梁・腹起し又は基礎杭等の障害物がある場合。

3. 掘削箇所が地下水位等で排水をせず水中掘削作業(溝掘り, 基礎掘削, 床掘り)を行う場合は障害ありを適用する。

4. 軟岩をリップングしたものは、リップング後の状態を考慮し、その状態に応じた土質をとる。

5. 「第Ⅱ編第1章②-2機械土工(岩石)」における床掘平均掘削幅2m未満の場合の破砕片除去及び積込みは、ルーズな状態の積込みのバックホウ山積0.45m<sup>3</sup>(平積0.35m<sup>3</sup>)を適用する。

6. 床掘土を仮置する場合は土木工事標準積算基準〔Ⅲ〕についても参照のこと。

### 3-3 クラムシエルの作業能力

#### 3-3-1 適用範囲

##### (1) 本資料の適用範囲

本資料は、土留・仮締切工の施工条件において掘削深さが5mを超える場合、又は掘削深さが5m以内でも土留・仮締切工の切梁等のためバックホウが使用出来ない場合で床掘り(作業土工)及び水中の掘削積込作業に適用する。

ただし、水中掘削積込については、陸上作業を対象とし、海上・水上作業は除く。

なお、別途歩掛が存在する深礎工, 鋼管矢板基礎工, 共同溝工, 地すべり防止工は除く。

### 3-2 バックホウの作業能力

#### (1) 日当り施工量

バックホウによる各作業の日当り施工量は、次表を標準とする。

表3.4 日当り施工量

(1日当り)

作業の種類	名称	規格	土質名	単位	数量	
					障害なし	障害あり
地山の掘削積込	バックホウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	m <sup>3</sup>	240	152
			岩塊・玉石	〃	184	112
		排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積1.4m <sup>3</sup> (平積1.0m <sup>3</sup> )	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	400	256
			岩塊・玉石	〃	328	208
ルーズな状態の積込み	バックホウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	248	
			岩塊・玉石, 岩(破碎)	〃	208	
		排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積1.4m <sup>3</sup> (平積1.0m <sup>3</sup> )	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	416	
			岩塊・玉石, 岩(破碎)	〃	352	
		排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	128	
			岩塊・玉石, 岩(破碎)	〃	104	
床掘り (作業土工)	バックホウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	220	180
			岩塊・玉石	〃	160	130
		排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	150	100
			岩塊・玉石	〃	110	70

(注) 現場条件の内容

#### 1. 地山の掘削積込

障害なし：構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されなく、連続掘削作業が出来る場合。

障害あり：掘削作業において障害物等により施工条件に制限があり(例えば作業障害が多い場合)、連続掘削作業が出来ない場合。

#### 2. 床掘り(作業土工)

障害なし：①構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されないオープン掘削の場合。

②構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されない矢板のみの土留・仮締切工掘削の場合。

障害あり：①床掘作業において障害物等により施工条件に制限がある場合(例えば作業障害が多い場合)。

②土留・仮締切工の中に、切梁・腹起し又は基礎杭等の障害物がある場合。

3. 掘削箇所が地下水位等で排水をせず水中掘削作業(溝掘り, 基礎掘削, 床掘り)を行う場合は障害ありを適用する。

4. 軟岩をリップングしたものは、リップング後の状態を考慮し、その状態に応じた土質をとる。

5. 「第Ⅱ編第1章②-2機械土工(岩石)」における床掘平均掘削幅2m未満の場合の破砕片除去及び積込みは、ルーズな状態の積込みのバックホウ山積0.45m<sup>3</sup>(平積0.35m<sup>3</sup>)を適用する。

6. 床掘土を仮置する場合は土木工事標準積算基準〔Ⅲ〕についても参照のこと。

### 3-3 クラムシエルの作業能力

#### 3-3-1 適用範囲

##### (1) 本資料の適用範囲

本資料は、土留・仮締切工の施工条件において掘削深さが5mを超える場合、又は掘削深さが5m以内でも土留・仮締切工の切梁等のためバックホウが使用出来ない場合で床掘り(作業土工)及び水中の掘削積込作業に適用する。

ただし、水中掘削積込については、陸上作業を対象とし、海上・水上作業は除く。

なお、別途歩掛が存在する深礎工, 鋼管矢板基礎工, 共同溝工, 地すべり防止工は除く。